

市議会12月定例会を開催

いわき市議会十二月定例会が、十二月七日から三十一日までの十五日間の会期で開催されました。議会では「いわき市健康・福祉プラザ条例」などの改正のほか、一般・特別・企業会計の補正予算などが審議され、三十八議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

清水市長は、市民の皆さんと双葉郡などから避難されている方々との交流・憩いの場となる交流広場として、平成二十七年



度から鮫川河川敷公園内に整備を進めてきたコミュニティ交流広場が、十二月二日に完成したことを報告しました。新たに整備したパークゴルフ場の供用開始に伴い、同施設を利用した出会いや交流を促進するとともに、スポーツに親しむ機会の増大を図り、生涯スポーツの推進に努めていくと述べました。

また、東日本大震災以降、生活用水として活用していた沢水や井戸水の濁水・濁水により、十分な水量の確保が困難になっている遠野町の大平地区および柿ノ沢地区での小規模給水施設整備事業について、水源探査の結果、安定した水源が見られ、給水施設的设计なども完了したことから、安



鮫川河川敷公園内に完成したコミュニティ交流広場

全で安定した飲料水の供給に向け、年度内の竣工を目指して、工事に着手する予定であることなどを報告しました。

主な議案

- いわき市健康・福祉プラザ条例の改正について
同施設の利用料金の限度額などについて、所要の改正を行いました。
- 財産取得について
(仮称)磐城平城・城跡公園の整備を行うため、その整備用地を取得するものです。
- 公平委員会委員選任の同意を求めることについて
佐久間一枝(新任)
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて
小泉和代(再任)
佐藤誠(再任)
- 川部財産区管理委員選任の同意を求めることについて
蛭田長次(再任)

主な補正予算

- ▶生活保護扶助費=2億1,406万2千円
- ▶国県支出金等過誤納返還金=1億7,876万6千円
- ▶ふるさと納税基金積立金・ふるさと納税推進事業費=1億3,634万6千円
- ▶金ヶ沢防災集団移転跡地活用事業費=9,970万9千円
- ▶小規模給水施設整備事業費補助金=7,011万2千円



防災集団移転跡地活用のため道路や水路などが整備される金ヶ沢

まちづくり活動や人材育成を支援

まちづくりのための取り組みや地域課題解決のための活動を支援する「まち・未来創造支援事業」と、まちづくりを担う人材育成を支援する「明日をひらく人づくり事業」の対象となる、市民活動団体やまちづくり団体等が行う市民活動などを募集します。

○お問い合わせ
地域振興課地域振興係
☎22-7414



まち・未来創造支援事業の一例「いわき街なかコンサート in TAIRA 2017」

まち・未来創造支援事業

- ①まちづくり活動(スタートアップ)支援事業
▼対象 新たな公益的活動を始めようとする団体の事業
▼補助額 補助対象経費の5分の4以内(上限20万円、助成は3回まで)
- ②まちづくり活動(ソフト)支援事業
▼対象 地域の課題解決や市民サービスを高めるための事業
▼補助額 補助対象経費の3分の2以内(上限百万円、助成は3回まで)

③まちづくり活動(ハード)支援事業

- ▼対象 地域資源を活用した整備事業
▼補助額 補助対象経費の4分の3以内(上限50万円、助成は1回)
- ④まちづくり活動(グレイドアップ)支援事業
▼対象 実績のある事業をさらに拡充・発展させ、各種団体から賛同・協力を得ながら企画運営する事業
▼補助額 補助対象経費の2分の1以内(上限50万円、助成は3回まで)
- ⑤NPO法人設立支援事業
▼対象 NPO法人格の認

平成30年新春市民交歓会を開催

新春市民交歓会を1月5日、パレスいわやで開催し、市民の皆さんや市内の事業所の方々など約550人が参加しました。同交歓会では、県農土木工業連合会いわき支部による木やりの披露や、鏡開きなどが行われました。参加した皆さんは、お互いの健勝とさらなる飛躍、そして本市の発展を祈念していました。



新年のあいさつをする清水市長



お互いの繁栄を祈り行われた鏡開き

明日をひらく人づくり事業

- ▼対象 ①将来のまちづくりを担う青少年を育成するための事業 ②まちづくりを担う人材を育成するための事業 ③自治
- 証手続きに係る活動や、会員獲得などに向けた広報活動
- ▼補助額 補助対象経費の5分の4以内(上限20万円、助成は2年以内)

○案内(共通)

- ▼申込方法 同課、各支所に事前相談の上、申請書類を提出
- ▼申込期限 2月28日(水)
- ※申請書などは、同課または市ホームページから入手できます。